



みつくうら



《 北米産大豆 》

18/19年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省がこのほどまとめた、18/19年度の世界大豆生産・需給予測によれば、生産量は米国の単収見込みが上方修正になったことで前月比2.2%増の3億6,932万トンとなりました。

生産量の増加に加え、消費量が減少したことにより、期末在庫量は前月比2.3%増の1億826万トンと上方修正となり、1億トンの大台を突破しました。

また、同日発表された米国大豆生産・需給予測によると、先月に続いて単収が増加したことで生産量は前月比2.9%増1億2,773万トンとなりました。

国内での消費量は前回から僅かに増加したものの、生産量の増加が上回ったため在庫率が前回比1.4%増の19.8%に上方修正されています。

18/19年産 世界大豆生産・需給予測

生産量	3億6,932万t	(対前年比	9.6%増)
消費量	3億5,301万t	(対前年比	4.8%増)
期末在庫量	1億826万t	(対前年比	14.3%増)
期末在庫率	30.7%	(対前年度差	2.6ポイント増)

18/19年産 米国大豆生産・需給予測

生産量	1億2,773万t	(対前年比	6.4%増)
消費量	6,008万t	(対前年比	0.8%増)
輸出货量	5,606万t	(対前年比	3.3%減)
期末在庫量	2,300万t	(対前年比	114.2%増)
期末在庫率	19.8%	(対前年度差	10.7ポイント増)



○米国大豆落葉率31%、平年・前年上回る

米農務省が12日に発表した、9月9日現在の米国大豆落葉率は、主要18州平均で31%（前週16%、前年20%、平年19%）と、前年比・平年比で共に上回るペースとなっています。

○米国大豆作柄状況、良・優68%に改善

同じく同日現在の米国大豆作柄概況は、主要18州平均で普通22%（前週23%、前年28%）、良好50%（前週49%、前年49%）、優良18%（前週17%、前年11%）と、良・優合わせて68%と前週よりも2ポイント改善しています。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



みつくら



○18年産カナダ大豆生産は収穫面積減少で9.2%減の701万tを見込み

カナダ統計局がこのほどまとめた生産量予測によると18年産大豆の作付面積は13%減の256万ヘクタールと、これまでの拡大基調から転機を迎えています。

減産の理由としては小麦などに比べて収益が低いことや、西部地域の土壌乾燥、世界大豆需給の過剰傾向を反映したものと思われまます。

これにより生産量は予想単収が前年を上回っているものの、701万tに減少すると予想しています。今後は夏場の高温により、さらに単収・生産量が低下する可能性もあるとしています。

《 トピックス 》

○平成30年度国産大豆クロップツアー

今年で第6回目を迎えた国産大豆クロップツアーですが、初めての取り組みとして講演会、懇親会を松島で開催。全農宮城様やみやぎ登米農協、契約栽培させて頂いております生産者の皆様にもご参加頂き、お陰様で好評のうちに開催を無事終えることができました。

今年は宮城県での新たな取り組みとして幻の在来種である『香り豆』の栽培を始めました。食味に優れ期待の高い香り豆ですが、今年は主に来年作付用の種子確保が目的のため、皆様に本格的にご紹介できるのはまだ先になりそうですが、楽しみに待っててください。



本年度のツアーは終了となりましたが、今後も本取り組みを通して皆様方の販路拡大や製品価値の向上を後押しさせていただければ幸いです。

来年度の開催も予定しておりますので、詳細につきましては、各営業担当へお問い合わせくださいますようお願いいたします。



三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>